



広報

こしがや

3月15日

昭和46年・NO. 371

編集

越谷市役所行政課

昭和42年8月5日第3種郵便物認可 毎月2回(1日・15日)発行



■巡回消費者教室■

このたび、越谷市くらしの会が地区巡回消費者教室を催しました。

講習には日本消費者センターの講師の方々が、母と子の歯の衛生、電気製品、洗濯等について講義し、実習をまじえながら行なわれました。これには一般の市民の方約300名が受講し、大変好評のうちに終わりました。(3月6日・福祉会館で)

45年度を迎えた市政の方針

3月定例市議会での市長の演説

三月定例市議会は、三月九日から開会中です。この議会のはじめに、大塚市長は総額五十四億円にのぼる四十五年度の予算案を中心に、新年度の基本方針を明らかにしました。今号では、市長の演説の全文を掲載します。

社会開発とともに

人間開発への努力

昨年の市政方針演説のはじめで、わたしは、わたしたちの身边における一種の無階級代すなわち「ブノミー」について述べ、中産階級化することによって、国の経済の高度成長のうねりを多

くやっていけるのだということがわかったのである。かれ少なかれ受けることになり、首都圏三十の越谷市も、いままでにはない経済・社会・思想の変革を余儀なくされるに至りました。



激しい変化と

多様の中に立つ

越谷は開いた社会としてすでに「江戸のまち」になり、「生馬」の目をめくような激しい変化と多様の中に立たされているので、イギリスの有名な政治学者フレイスは、地方自治は民主主義の学校であると言いました。この学校に十九年間にわたって学んだわたしは、この経験をとおして、社会の発展を三つの段階に分けることができることを知りました。第一は経済開発、第二は社会開発、そして第三に人間開発の三段階であります。

資本がいかに貧弱であるか。とりわけ、田んぼをうめて一時間に三軒の家が建つという人口急増の市では、極端なほどこれらの矛盾が鋭く現われているといわれればなりません。さらに言うならば、たとえ生活環境が整えられたとしても、マイホーム主義で孤立化し社会的連帯意識を持たない人たちが市民の多くを占めたとしたら、たとえダストボックスを倒れこころに設けても、水路はおそくはハタメのかわりになるでしょう。せいかくみずからの社会環境を形成するその手で、みずからの社会環境を破壊するところの、いわゆる「人間の自己疎外」を招くことは必定であります。

わたしは四十五年度を迎えて、予算の編成と議案の審査にわたって、社会開発がその重要な根幹とするものであることを十分に認識すると共に、もたらす住民と新しき市民とが人間関係を深めつつあるか、保育や病人への手立ては完備しているのか、ひとつひとつ数えていくとマイホームの生活がすばらしくなったのに比べて、その生活を全体的にみる社会

歳入

依然として乏しい自主財源

市税は市民一人あたり平均一万円に

まし歳入について申しますと、市勢の進展に伴って、前年比二般会計で七五増の三十八億六千二百四十万円、特別会計において七四増の十五億四千六百二十七万円となりました。特に市税収入では、初めて市民一人あたり平均一万円に達することとなりました。

特別会計では、毎年のように増税を行なって、低所得者層の被保険者に不安を与えかねなかつた国保事業動定においては、医療費の改訂による支出の増高にもかかわらず一般会計からその繰上を補く措置です。

▽▽開発公社の役割へ

「財の不足をもって國家の養ひ」としたものはない。養ひは財を治める術策(テクニック)に欠けていただけだ」というシナの王安石のことがあります。

乏しい財政収入の中で限りない市民の需要にたえていくには、開発公社その方向にも動かせないが、すでに開発公社が市のために先行取得してある公共用地は金額にして十一億円を超えるはるかに大なるものですから、いまのこ

るそれも焼け石に水です。学校も保育所も公園運動場も、市立病院ならぬのが、越谷市のみならず、いよいよも敷地の取得を前提とする施設や、市の単独で画策する事業については、多少にかかわりあり術策であります。

歳出 文教施設、都市計画と市立病院を重要視

さて、歳出全般を通じて特別に重要視したのは(1)文教施設の充足(2)都市計画事業の振興(3)市立病院の企画立案と早期着工への足がかりをかためよとしたことであり、また、その他福祉施設や消防施設の拡充強化、衛生環境の改善にもいざなひながら留意しました。

先ず総務費では、近代的な人事行政を推進するための段階的方法として、職員ハンドブックを制定しようとした。

住民情報管理を電算機化する

交通安全対策では、これはカーブミラーをさらに六十カ所(現在十八基)道路標識五百基(現在百九十六基)を取りつけ、照明灯五十基を新設し、また交通公園を整備し、自動車による移動安全教室の実施をはかることになりました。

特掃地域外もゴミ収集

市民課関係では、住民情報管理

第三に衛生関係では、環境衛生事業に力を入れ、不燃物の収集を全市内に及ぼし、ゴミについては、特掃地域以外でも週一回の収集を計画しました。要望の多いゲストボックスについては五百個これに要するタレーンつきゴミ収集車四台を新購入することになりました。

見地方に転転改築する予定の火葬場については、目下国鉄建設公団と補償額について折衝中ですが、より近代的なものにしたいと考えて八千万円の経費を債務負担行為としてとりあえず措置しました。

市内には特殊学級にもはいれないいわゆる精神薄弱児が相当にいます。これは人間開発を指向するわたしとして、何とかして國の援助を得て実現したいと思えます。

増林地区に農民センター

第四に産業関係では、県の近代農村建設の構想に呼応して増林地区に農民センターを建設し、また農業振興地域については、高能率作業を実施するための組織をつくらせて、技術銀行と提携するようしたいし、各種の土地改良事業を援助していきたいと思えます。

衛生・産業関係

お、六月、市に市街化区域と調整区域との線引きの決定するのを待つて、さらに緊要な施策を講じて

いきたいと思います。
商工業の振興対策については、広域商業診断の結果が出るのを待つて、これまた適切な対策を呼びたいと思います。

土木関係

道路整備と市営住宅建設

第五に土木関係ですが、まず土木課所管のものについては、グレート、シヨベルローター(四十四年度で債務負担済)、ハンドローザ、タンカー等の充実ははかりました。ことしから初めて舗装修繕工事のために五百万円を計上し、敷砂利は六千万円、道路新設改良等については通常予算で一億三千五百万円を計上し、新たに債務負担が一億五千万円を起しました。

建築関係では、公営住宅一種を二十戸、二種を十六戸予定しました。公園関係では、児童公園が三か所、東部清掃の処理場に近い増林、開墾地内の敷地二万坪は、国庫補助三分の一で総合公園(野球場、テニスコート、バレー、トラック、プール)をつくるべく、とりあえず整地のための予算を計上し、地元の市民への還元事業ともするものになりました。都市下水も、新都市計画法の実施のため遅れていた、公共下水道への切り替えへの一歩を踏みだしたいと、目下懸命の努力を払いつつあります。

その他、一般の下水で緊急に改善を要するものについては、越谷

越谷駅前広場の直収については、ようやく知事の認可と建設省の了解をとりつけ、四十四年度から四十八年度までの五年計画によつ

谷地区の排水ポンプの設置、湧生地区の四本の水路、大袋ほか十一か所の水路についてその工費を手あてしました。

この際、特別会計に属しますが都市計画による土地区画整理事業に言及しておきたいと思ひます。東小林では残工事、保留地処分を急ぎ、公債の繰り上げ償還までこぎつけたかと思ひます。

南越谷は、いよいよ工事の最盛期を迎えることになり、今年度で国鉄駅、東武駅予定地付近の整備を主として進めていきたいと思ひます。

東越谷第一も、工事請負費三千万円が工事に着手したいし、千間台は第二工区、第二工区でそれぞれ街路整備を主とした工事を、合計一億五千万円で実施しようと思ひました。

消防費

谷中町に消防分署

第六に消防費では、すでに開発公社で用地を確保してある草加ハイパス沿道の谷中町に、消防分署を建設することにしました。なせ湧生に先だつてここに敷地を選んだかといふと、東武鉄道の踏切通過が、出勤の際非常に危険な状態になっているのを、ひとまず解消しようとするからです。この分署はアレヒカメラを備え、職員宿舎

併設し普通車、ハシゴ車を備えたい考えです。別に消防団へは、普通車一台

教育

目標は人間開発に五つの柱を立てる

第七には教育費です。その最終的目標を人間開発におき、五つの柱を立てました。その一つはあいかわらず、施設づくりです。小学校の屋内体育館を三か所、中学校一か所を新築、そのほかに校舎の増築が、小学校で大沢小、桜井小(四十四年度債務負担)、大袋小、東越谷小、出羽小(九月以降の債務負担行額(学校運営費)の充足率を前年に比べ五割増として、それぞれ七十五割とし、父兄負担を向後三か年で解消しようと思ひました。以上が昭和四十五年度予算の概要です。

その二つに公民館活動の促進、社会教育の振興のために主事を四名、事務職員一名を充足し、湧生公民館になつて、狭島公民館の新築を実施したいと思ひます。その他、図書館費、各種講座、研修会等の開設、関係団体への援助を心がけます。

三つめに教員の資質向上をはかるため、学校教育指導費を増額し、教育研究所を強化しました。四つめに、児童生徒の指導を充

実するために、東越谷記念館の一部をあてて、教育相談所を充実したり、大袋小に学校図書室を新設して、自発的な学習方法をとりあげたり、学校保健会の新設などを考えました。

五つめに、父兄負担の段階的軽減をはかりました。すなわち、小学校および中学校の基準財政需要額(学校運営費)の充足率を前年に比べ五割増として、それぞれ七十五割とし、父兄負担を向後三か年で解消しようと思ひました。以上が昭和四十五年度予算の概要です。

まもらつてきた「ハローガイド(Harrow Guide)」の中に次のような文句があります。都市計画の目的は、計画をもたなかつたときより、もっと大きな自由を個人に与えることである。……

新しい都市が市民に与えなければならぬ自由とは、ミニホコリ、騒音や大気汚染から解放されることであり、事故の心配を散歩のできる自由、交通の混雑がなく自動車を運転できる自由、はやく帰宅ができ、働いたり買物をしたり、遊んだりする自由、個人の生活が侵されずに毎日を生きたり、いろいろな社会活動についても参加できるような自由である。……

このようなアイデアを技術的に実現する方法として、一般的に受け入れられているのは、工場、住宅、商業等の地域をハッキリと分けて、これらの全体をばよ整備された村落体で囲むことである。いわば緑の自然に囲まれた田園都市とするといふのである。

この理念に接したわたしたちは文字どおり日暮れて道遠しの感を抱かないわけにはいきませんが、しかし越谷市の理想とする都市哲學は、これまでここに置きたいものです。

わたしたちは将来の越谷市を、市街化区域・調整区域の策定を機会に都市計画を軸として形成させていきたいと思ひます。

わたしたちは去る昭和四十一年に機会があつて、ロンドン郊外のニュー・タウン「ハロー市」を訪ねることができました。そのと

越谷松伏水道企業団議会議

3月定例会の結果

越谷松伏水道企業団議会の三
月定例会は三月四日、市議会議員協議会室で開かれました。

この議会には企業長から四十人、五年度予算案が提出され、いずれも原案のとおり可決になりました。

主な議案の内容は次のとおりです。なおこの議会有り、企業長である大塚市長は左に掲げた要旨のあいさつを行

対して収入は、分担金と工事負担金が一億五千四百九十九万四千円であり、支出に対する収入の不足分二千六百十三万五千円は、減価償却金と建設改良積立金を補ってしま

す。(資本的収入および支出)

昭和四十四年度越谷松伏水道企業団水道事業会計補正予算案

昭和四十四年度水道使用料金や水道新設工事申込金などの収入が、すでにまわっている予算より二千七百七十一万二千円に減る見込みとなるため、収入と支出をそれぞれ三億二千八百七十五万四千円に補正しました。(収益的収入および支出)

また、北部浄水場や水源、配水管敷設に関する予算では、水道新設工事申込者から納めていた分担金が改正されたため、増額が見込まれました。

それに配水管新設工事申込者から納められる負担金の増額も見込まれることから収入額を六千七十七万三千円ふやして収入総額を三億二千三百六十二万七千円に補正しました。

一方、支出総額は三億四千五百四十六万三千円に補正しました。

なお収入額が支出額より不足の部分、建設改良積立金などから補てんすることにまわりました。(資本的収入および支出)

四十五年度水道事業について

企業長あいさつ

越谷松伏水道企業団は、昭和四十四年四月一日に、越谷市水道事業を統合して、その計画規模は給水人口が四万五千人、一日最大給水量四万一千立方メートルの施設は四十四年度で完成の運びになりました。

しかし、給水区域内の人口急増の傾向はいぜんとして続き、四十六年度の水通需要量は、現在の施設での能力を超えることが予測されるので、四十五年度には次期拡張事業を策定する必要にせまわれ

ています。

これには、かねて促進運動を行なっている真管水道の供給開始が四十九年度に予定されているので、この受水施設と配水管新設ならびに、四十六年から四十八年度に至る間の地下水源の増補を含むものとなりま

す。この次期拡張事業の厚生省において認可申請は四十五年度内に行なう予定であり、着手は四十六年度の予定であります。

なお、この拡張事業計画にあわ

増大と、費用の増高によって、圧迫されている財政改善のために、次期拡張期間の財政計画も策定するものであります。

四十五年度には、この二つの計画策定の段階において、水源の確保と企業の効率的運営のための最善策をたて、給水の円滑と経営の安定をはかることが事業の方針であります。

その他四十五年度施策として、配水管敷設は南越谷区画整理事業の進展にあわせて行なうのを基本として、両市町の開発計画の実施に協力し、道路新設改良などの施工に伴い、逐次着工または計画に組み入れる予定であります。

東部清掃組合 議会の結果

東部清掃組合議会の三月定例会は、三月三日、組合管理事務所で開催されました。この議会には管理

者大塚越谷市長から、つぎの三議案が提出され、いずれも原案のとおり可決されました。

▽東部清掃組合職員給与に関する条例の一部を改正

▽昭和四十四年度東部清掃組合会計補正予算

この中で主なものは、第三次し尿処理場の建設費で、補正予算には千四百七十五万円を積み、四十五年予算には一億一千二百二十五万一千円組んであります。

第三次し尿処理場は、四十五年度中に完成を予定しているもので、これが完成すると二日に三百リットルの尿を処理することができるようになります。

市議会三月定例会

二十五日まで開いています

- 越谷市議会三月定例会は、九日、越谷市立学校設置条例の一部改
- 正
- ▽越谷市社会体育指導委員設置条例の一部改正
 - ▽公平委員の選任
 - ▽固定資産評価審査委員の選任
 - ▽昭和四十四年度越谷市一般会計補正予算
 - ▽昭和四十五年度越谷市一般会計予算
 - ▽越谷市立学校設置条例の一部改正
 - ▽越谷市市計画奨励条例の一部改正
 - ▽越谷市手数料条例の一部改正
 - ▽越谷市保育所設置および管理条例の一部改正
 - ▽越谷市当営住宅管理条例の一部改正
- 会期の日程は
- 十五日以後の市議会の日程はつぎのとおりです。
 - 十六、七日日本会議・一般質問
 - 十八日・二十三日委員会
 - 二十四、五日日本会議

市史編さんだより

(42)

越谷米

最近の食生活の変化にともない戦後久しい間、農業生産の中で特に盛衰された措置を講じられ続けられてきた穀米生産も、ここ数年米古米、古古米といった余剰米を生じ、政策の転換を迫られる局面を迎えるに至っている。

これらの地域の産米がいかなる評価をうけたかは、同書の「諸国御米位付」に記されている。

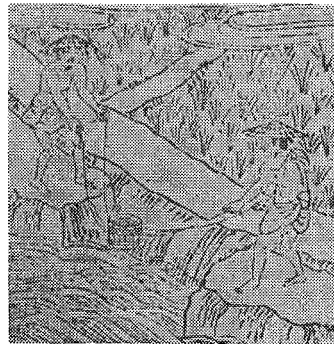
まず上分として、美濃・三河があげられ、次に中分(上の次の意味ではないかと見られる)として、武蔵・駿河・濃河の諸国がある。この武蔵の中でも、とくに選ばれた地域が十六ヶ所あるが、

向山誠齋の誌した「甲辰雜記」の中に八ヶ所・越谷(現在の出

羽・狹島を含む)・新方・二郷半・松伏など、埼玉東部低地帯の産米地域が名を挙げられている。

このことから、江戸時代の越谷周辺地帯は、かなりの良質米の生産をおこなっていた産地として広く知られていたことがわかる。

また、越谷の出羽地区でかん米は、太郎兵衛もちと称され、細もち米でねばり強く、極上もちとして高く評価されてきた。

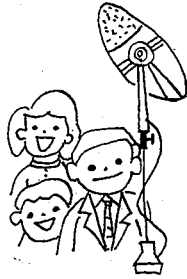


で、名字帯刀の家柄であった。このもち米も現在、栽培のむすかしと、産米政策の転換、それに加えるに宅地の造成でやがて姿を消す運命にある。

市史編集員 森田雄一

市政は市民とともに

市政モニターを募集



市役所では、市政モニターとなる方を募集しています。

市政モニターは、ことしの四月から越谷市に初めて設ける制度で市民のみならず越谷市政の監視人として市の行なっているいろいろな仕事について、ご意見やご感

想を寄せていただくと共に、越谷市をもっと魅力ある町にするために市民のみならずの積極的な意見をお寄せいただくものです。

募集要領は次のとおりです。

- ▽モニターになれる方 満二十歳以上
- ▽募集要領は次のとおりです。
- ▽任期 一年間(四月一日から来
- ▽報酬 モニターになった方には
- ▽応募方法 モニターになりたい方は、住所、氏名、年齢、職業を

明記して手紙または直接市役所行

- ▽申し込み締め切り 四月十五日
- ▽申し込みの消印までは有効
- ▽応募した方の
- ▽お問い合わせは、行政課広報係まで

検診を受けて健康な体に

胃・食道がんの

集団検診を実施

- 厚生課では、
- 胃、食道がんの集団検診を四月五日から各地区で行な
- います。
- がんは、早期発見、早期治療が大
- 切で、自覚症状が
- でてからではおそすぎます。
- この機会に一人でも多く検診を受けてください。検診申し込みは、三月二十五日までに厚生課へ、電話でも受け付けます。
- 電話 六四二二二二
- 4月5日 市役所健康相談室
- 6日 新方公民館
- 7日 桜井小学校
- 8日 川柳農協支所
- 9日 大沢・体育館
- 10日 大相模公民館
- 11日 増林公民館
- 12日 13日 清生公民館
- 14日 狹島小学校
- 15日 大袋農協支所 会議室
- 16日 出羽旧支所
- 17日 市役所健康相談室

環境衛生協会が発足

このほど越谷保健所管内環境衛生協会(会長中野光十郎氏)が発足しました。

環境衛生協会は、カ、ハエの駆除を中心に、自分たちの手や越谷市をきれいにしようという気持ちで、今後の活躍が期待されています。

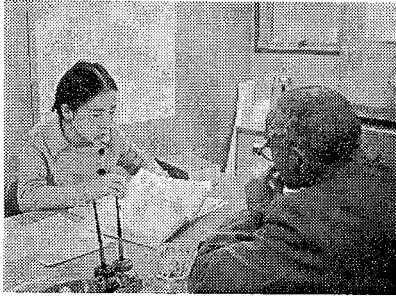
にしき鯉を

お分けします

希望者は、三月二十日まで代金を添えて農務課にお申し込みください。電話六四二二二二

値段は 一*(六一四)千二

時間は午前8時30分から午後5時まで



弁護士による相談

毎月第1月曜日
市民相談室で

急激な都市化に伴って、いろいろな社会問題が増加しています。これは行政対市民の問題もありますが、反面、市民相互間の紛争や家庭内の問題もあります。

市役所では、昨年の10月に市民相談室を開設しましたが、相続や土地・住宅の賃借、不動産売買などの問題がたくさん持ち込まれています。

このような問題を専門的な立場から助言指導をする弁護士を委嘱しました。

弁護士は、遠藤順子先生で、毎月1回第1月曜日の午後1時から5時まで相談を受けています。

お気軽にご相談にお出かけください。
なお、4月は、6日が相談日です。

健康 民保 国康

被保険者証が

四月から新しくなります

国民健康保険の被保険者証が四月一日から新しい被保険者証に切り替わります。

このため、今まで使っていた被保険者証は、三月三十一日で無効となり、古い被保険者証は四月から使用できません。新しい被保険者証は、今月末までに各納税組合長さんにお願いで引き替えます。

新しい被保険者証は、三月二十日現在で整理しておりますので三月二十三日から三十一日までの間

なお、納税組合に加入していない方には、次の各会場で引き替えますので古い被保険者証をお持ちになつてあなたの住んでいる地区の会場へおいでください。

時間：午前九時三十分から午後三時。なお、28日は、午前九時持参ください。

なお、古い被保険者証は必ずこのように法律で定められている「消防署で巡視に来たときお持ち

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

24日 大袋農協支所 狭島
農協支所
25日 増林公民館 大相模
公民館
26日 出羽農協支所 蒲生
公民館
27日 越ヶ谷・市役所一階
ホール、大沢・市立体育館
28日 北越谷・記念会館
川柳・伊原集会所

最近、市内の一般家庭から消火器の昔情や問い合わせがひんぱんにあります。

これは消火器のセールスマンが、消防署と関係があるかのように言い、「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

「各家庭には消火器を置くように」

燃えないゴミの収集日

- 4月1日から15日まで
- 4月1日 宮本町1丁目、赤山町1～6丁目、東柳田町、元柳田町
 - 2日 宮本町2～5丁目、神明町1～3丁目
 - 3日 大沢1・4丁目、宮浦自治会
 - 6日 大沢2・3丁目
 - 7日 北越谷1～5丁目
 - 8日 南越谷2丁目、登戸新田（東武線の東側）、瓦曾根1～3丁目
 - 9日 登戸町、南越谷1丁目
 - 10日 蒲生東町、蒲生4丁目
 - 14日 蒲生寿町（東武線の東側）、旭町、蒲生3丁目（川柳県道の北側）
 - 15日 蒲生西町1丁目、蒲生本町、蒲生1丁目、菱宮町



スピーカー

第三十一回史跡めぐり

日時 3月22日午前9時越谷駅構内集合
コース 越谷駅（9時22分栃木行準急）→栗橋→御前→栗橋→橋城跡→隆嚴寺周辺→東昌寺→幸手駅
会費 六百元（交通費、昼食代含む）主催 越谷市郷土研究会

第九回日本古典文学鑑賞講座
日時 4月4日午後3時
場所 福祉会館第一会議室

万一に備えて

市民交通傷害保険

市民交通傷害保険の出張受付を次の日程で行ないます。万一の事に備えて家族をそろって加入ください。保険料は一人三百円。
受付：午前9時30分～午後3時

- 3月23日 蒲生南園地集会所
- 3月24日 大相模公民館
- 3月25日 大沢警後集会所
- 3月26日 猿島農協会議室

「越谷市商店街の再開発」についての講演会

日時 3月23日午後1時
場所 市役所大会議室（五階）
講師 東京工業大学教授・工享

主題 「一人往生」—今昔物語
講師 鈴木亮一氏（越谷北高等学校教諭）
テキストは当日さしあげます。

博士 石原舞介氏
不動産売買に関する相談所開設

農業の巡回相談開く

農業委員会では、農業従事者を対象に巡回相談を行ないます。時間は午前9時から午後四時まで、土曜日は十一時まで

- 3月26日 桜井・新方地区（新方公民館、27日萩高・大袋地区（大袋農協支所、28日越ヶ谷・大沢地区（市役所農業委員会、30日増林・大相模地区（大相模公民館、31日）

若妻学級生徒募集

次のとおり若妻学級を開講します。申し込みは3月20日までに市役所厚生課健康係へ。

日程 3月23日妊娠の生理、妊娠中の保健、24日妊娠中の異常分娩の準備、25日妊娠中の栄養、26日産褥期、新生児の保育、27日家族計画など。

日時 午後1時30分から3時
場所 越谷市役所第二会議室

4月の休日当直医

＝4月5日＝

内科系 南埼玉病院（増 森）82-1291

産科系 田中醫院（袋 山）75-0349

外科系 名倉醫院（蒲生寿町）63-0123

＝4月12日＝

内科系 渡辺醫院（大間野）62-5628

産科系 蒲生産婦人科（蒲 生）62-5889

外科系 軍司醫院（越ヶ谷）62-2408

一般住民 血圧検診

次の通り血圧検診を行ないます。ぜひこの機会にお受けください。

検査内容 尿検査（腎臓病、肝臓病、糖尿病）

時間 午後1時30分から3時まで

月日	地区	会場	月日	地区	会場
3月13日	新方	公民館	3月23日	大相模	公民館
16日	萩島	農協会議室	24日	桜井	公民館
17日	出羽	旧支所	25日	大沢	市立体育館
18日	蒲生	公民館	26日	大袋	農協会議室
19日	増林	公民館	27日	川柳	伊原集会所
20日	越ヶ谷	福祉会館			

市民合唱団「よしきり」団員を募集、お問い合わせは鈴木久隆宅へ 電話 63-2006 広報 こしがや (8)